

焼津市立総合病院内科専門研修プログラム (焼津市立総合病院)

1 はじめに

静岡県中央に位置する焼津市は人口 14 万人の地方都市でありながら総合病院は当院のみで、専門的な治療・手術のできる施設は極めて少ないのが特徴です。当院の内科は神経内科、消化器内科、腎臓内科および総合内科が充実していますが、このような医療圏の実情に合わせ総合内科だけでなく各専門内科医も自分達の専門領域にとらわれず、幅広い内科的疾患に柔軟に対応しています。実際に指導医資格を持った医師数も多く、また実力のある教育熱心な先生方が揃っています。



3年間の内科専攻プログラムの中で、1年以上研修を行っていたり、ただ予定の連携施設も地方の中核病院や大学病院であり、高いレベルを保っています。気候も温暖で魚も美味しく暮らしやすい焼津の地で、幅広い疾患に対応できる真の臨床能力を身に付けたい先生方の応募をお待ちしています。

プログラム統括責任者 焼津市立総合病院 病院長 関 常司

2 目的

焼津市立総合病院内科専門研修では、症例をある時点で経験するというだけでなく、主担当医として、入院から退院<初診・入院～退院・通院>まで可能な範囲で経時的に、診断・治療の流れを通じて、一人一人の患者の全身状態、社会的背景・療養環境調整をも包括する全人的医療を実践します。そして、個々の患者に最適な医療を提供する計画を立て実行する能力の修得を目標とします。

また、内科専門医は、(1)高い倫理観を持ち、(2)最新の標準的医療を実践し、(3)安全な医療を心がけ、(4)プロフェッショナリズムに基づく患者中心の医療を展開することとなりますが、内科専門医のかかわる場は多岐にわたるため、専門研修2年目の1年間は本研修プログラムの連携施設（特別連携施設）において、立場や地域における役割の異なる医療機関での研修を通じて内科専門医に求められる役割を実践します。

3 研修病院群

(1) 専門研修基幹施設

焼津市立総合病院

(2) 専門研修連携施設

静岡県立総合病院
市立島田市民病院

(3) 専門研修特別連携施設

菊川市立総合病院

4 専攻医受入数

3人

5 研修期間

3年

6 研修計画（例）

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
1年目	基幹	内科①			内科②			内科③			内科④		
2年目	連携	連携施設（循環器、呼吸器、血液、膠原病、代謝・内分泌）											
3年目	基幹	救急			《選択》								

*内科①～④は、総合内科、消化器内科、神経内科及び腎臓内科領域のいずれかの領域とします。

*例えば、1年目の最初に研修する領域で、入院した患者を退院するまで主担当医として診療にあたります。2つ目の研修領域に移行する際に、主担当として受け持った患者が退院していない場合は、2つ目の研修領域でも引き続き主担当医として診療にあたります。あわせて、2つ目の研修領域で入院した患者も退院するまで、主担当医として診療にあたります。これを繰り返して、内科領域の患者を分け隔てなく主担当医として診療します。

*選択期間は、関連する外科系診療科をローテートすることも可能です。

*この他のプログラムも選択可能です。

7 問い合わせ先

事務部病院総務課医局担当（総合研修指導室総合研修指導担当）：佐藤、岡田、石川

住所：〒425-8505 静岡県焼津市道原 1000 番地

電話：054-623-3111(代表)

FAX：054-624-9103

E-mail：ikyoku@hospital.yaizu.shizuoka.jp

URL：<http://www.hospital.yaizu.shizuoka.jp/>